2025年度　環境経営レポート

(2025年4月～2026年3月)



2026年8月20日

株式会社ＯＳＫ

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0002133

目　次

ページ

■ 事業活動の概要・認証登録の対象範囲・
主要な環境負荷排出量（CO2総排出量、廃棄物総排出量、水使用量）

■ 環境経営方針

■ EA21組織表

■ 1. 環境経営目標とその実績等 ～

■ 2. 主要な環境活動計画の内容 ～1

■ 3.　環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組 14

■ 4.　環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反･訴訟等の有無 15～16

■ 5. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果 17

■ 事業活動の概要

1） 事業所名　　株式会社OSK（旧社名：大阪装置建設株式会社）

2） 代表者　　代表取締役社長　清水保弘

3） 所在地　　本社（事務所及び工場） 大阪市西淀川区姫島3－11－27

4） 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責　任　者	環境管理責任者	河井青史
担　当　者	EA21事務局	河井青史
連　絡　先	Tel.06-6477-9321　Fax.06-6477-9176	

5） 事業の内容　　都市ガス工事をはじめ、各種プラント建設、エネルギー設備、燃焼設備、水門等の設計・製作・現地工事を行っています。

6） 事業の規模

① 資本金	50百万円
② 設立	1960年6月
③ 従業員	81名
④ 床面積	4，487平方メートル
⑤ 売上高	4，066百万円 （2025年度）

■ 認証登録の対象範囲

① 登録組織名	株式会社OSK
② 対象事業所	本社
③ 活動内容	都市ガス配管工事、各種産業機械設計・製作・据付工事

■ 主要な環境負荷排出量（CO_2総排出量、廃棄物総排出量、水使用量）

	2023年度	2024年度	2025年度
CO_2総排出量（kg-CO_2）	199,725	163,309	167,130
廃棄物総排出量（t）	467	447	398
水使用量（㎥）	958	651	616

＊購入電力のCO2排出係数は、2024年度から㈱新出光のノーカーボンプラン契約を締結したことにより0とする。

環 境 経 営 方 針

株式会社OSKは、建設・設備事業等を行う総合エンジニアリング企業としての活動が、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会を目指し以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1　事業活動に関わる環境関連の法規・条例及び大阪ガス㈱をはじめとする顧客の環境経営方針の要請事項を含むその他の要求事項を遵守します。

2　環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。

1）　省エネルギーと温暖化ガスの発生抑制に努めます。
2）　省資源の促進を図ります。
3）　廃棄物の削減及び適正処理に努めます。
4）　節水の推進を図ります。
5）　設備工事による環境負荷削減に努めます。
6）　周辺地域に対する環境改善に努めます。
7）　化学物質の適正管理に努めます。

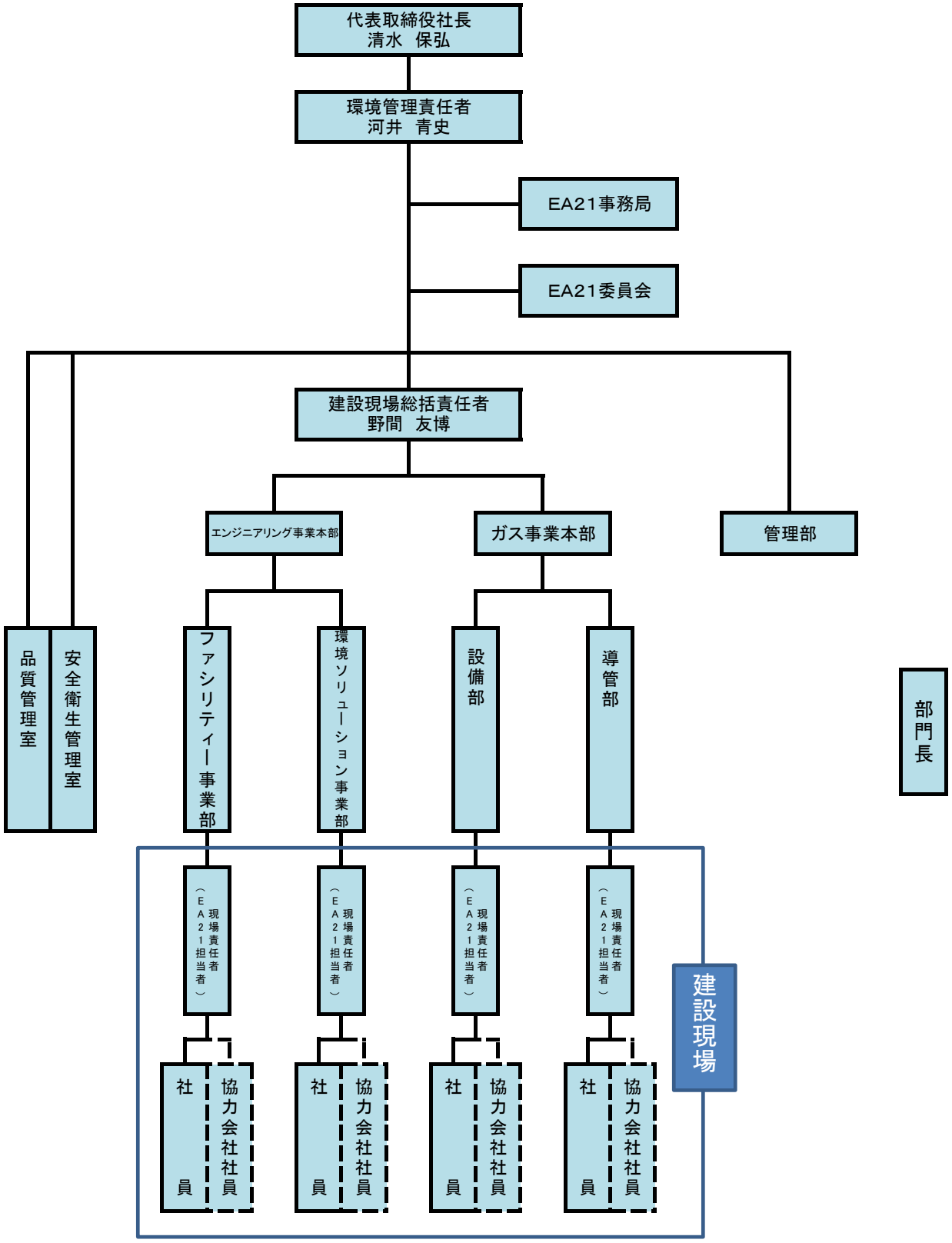
3　この環境経営方針は、全従業員に周知します。

2025年4月1日

株式会社OSK

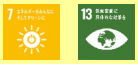
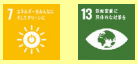
代表取締役社長　　清水　保弘

株式会社OSK　EA21組織表



1.　環境経営目標とその実績等

①環境負荷低減目標（環境経営目標設定）とその実績値

取組項目（環境経営目標）	取組とSDGs	2024年度実績	2025年度目標	2025年度実績	2026年度目標	2027年度目標
電力使用量の削減 （kWh） 2024年度の1%削減		117,733	116,556	117,830	115,378	114,201
都市ガス使用量の削減 （㎥） 2024年度の1%削減		9,294	9,201	8,814	9,108	9,015
ガソリン消費量の削減 （L） 2024年度の1%削減		59,278	58,685	57,650	58,092	57,500
軽油消費量の削減 （L） 2024年度の1%削減		2,213	2,191	5,560	2,169	2,147
CO_2排出量の削減 （kg-CO_2） *1 2024年度の1%削減		163,309	161,676	167,130	160,043	158,410
一般廃棄物単純焼却量の削減（kg） 2024年度の1%削減		491	486	386	481	476
産業廃棄物排出量の削減 （t） *2 2024年度の1%削減		443	439	395	434	430
水使用量の削減 （㎥） 2024年度の1%削減		651	644	616	638	631
コピー用紙購入量の削減 （kg） 2024年度の1%削減		1,193	1,181	957	1,157	1,133
化学物質の適正管理 （%）*3 毎月一回		100	100	100	100	100
環境配慮型設備工事の推進（kW）*4 2024年度の10%増		1,750	1,925	1,100	2,100	2,275
周辺地域清掃活動の推進 （回） 毎月一回		12	12	12	12	12

*1 購入電力のCO_2排出係数は、2024年度から㈱新出光のノーカーボンプラン契約を締結したことにより0とする。

*2 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

*3 使用化学物質の使用量を把握し、その中で当該化学物質に含有するPRTR法（化管法）の対象物質の量をSDSを基に算定把握しているが、算定把握対象物質数に対する実施数割合を%で表示。

*4 コージェネレーション設備定格発電出力

（SDGs）
エコアクション21の取組を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の課題解決にも寄与しています。環境省SDGs活用ガイド（資料編）を参考にEA21の取組項目とSDGsを紐づけしてみました。

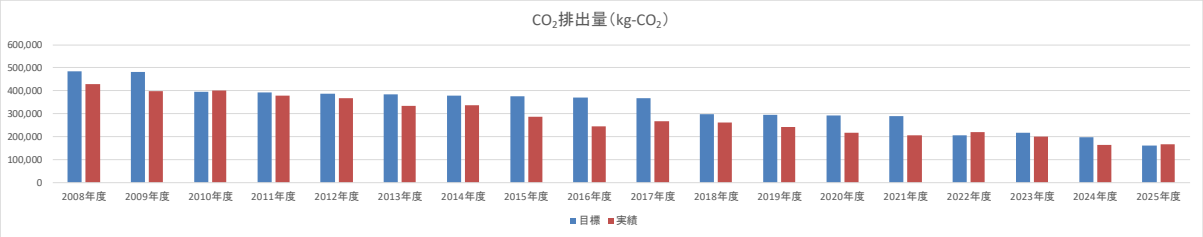


1. 環境経営目標とその実績等

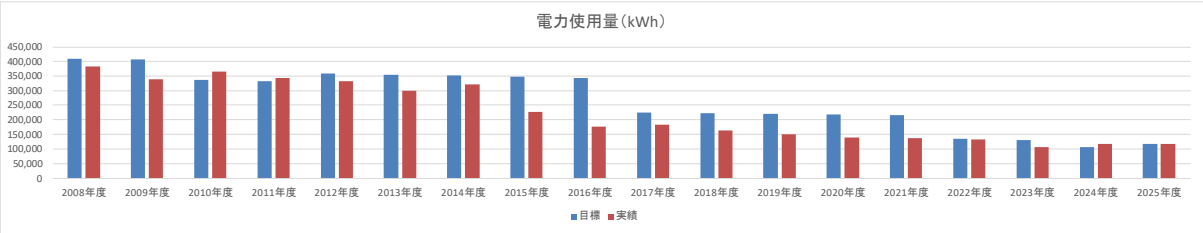
②主要な環境負荷排出量

項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CO_2排出量(kg-CO_2)	目標	484,242	481,784	395,190	391,198	387,206	383,214	379,223	375,231	371,239	367,247	298,993	295,804	292,615	289,425	204,298	216,710	197,728	161,676
	実績	427,585	398,922	401,373	379,661	368,245	334,243	337,472	285,979	245,647	265,896	262,083	242,050	215,895	206,362	218,899	199,725	163,309	167,130

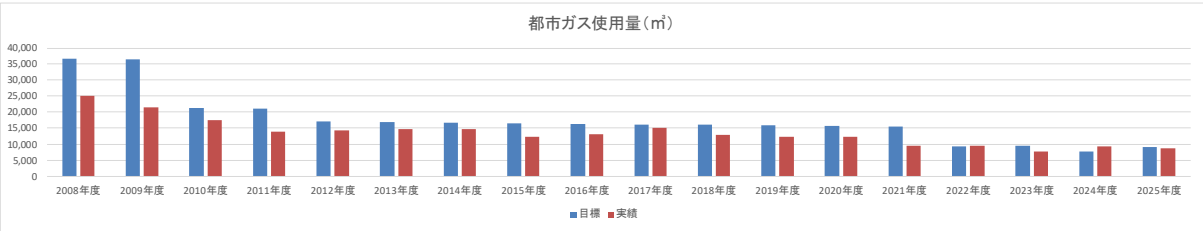
＊購入電力のCO_2排出係数：2008～2023年度については、2015年度㈱新出光の調整後排出係数0.400kg-CO_2/kWhを使用。2024年度は、㈱新出光のノーカーボンプラン契約を締結したことにより0とする。



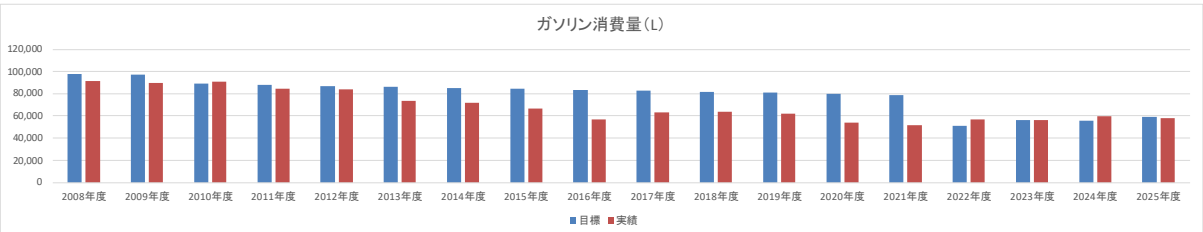
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電力使用量(kWh)	目標	408,081	406,009	335,855	332,462	358,050	354,396	350,743	347,089	343,436	224,633	222,364	220,095	217,826	215,557	136,022	131,739	106,261	116,556
	実績	382,218	339,247	365,357	342,707	332,191	299,913	320,351	226,902	177,632	183,286	163,039	150,687	138,891	137,396	133,070	107,334	117,733	117,830



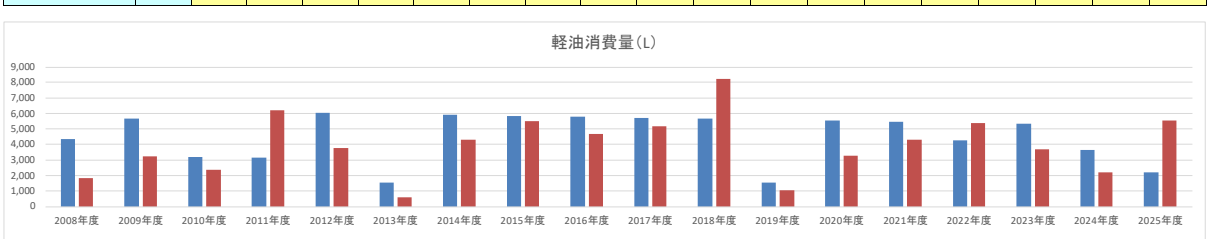
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
都市ガス使用量(㎥)	目標	36,653	36,467	21,210	20,996	17,046	16,872	16,698	16,524	16,350	16,176	16,002	15,829	15,655	15,481	9,410	9,464	7,743	9,201
	実績	25,014	21,424	17,394	13,866	14,299	14,726	14,764	12,298	13,109	15,084	12,824	12,334	12,219	9,505	9,560	7,821	9,294	8,814



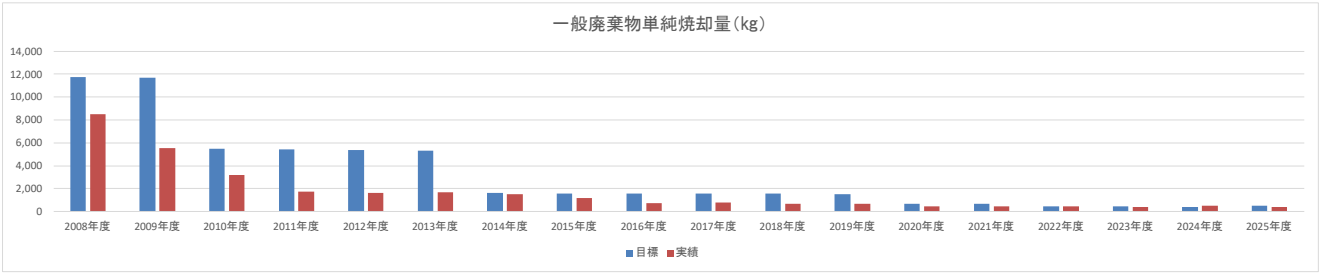
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ガソリン消費量(L)	目標	97,708	97,212	88,670	87,775	86,879	85,984	85,088	84,192	83,297	82,401	81,505	80,610	79,714	78,819	50,884	55,842	55,647	58,685
	実績	91,445	89,566	90,834	84,423	83,676	73,255	71,465	66,353	56,645	62,988	63,585	62,063	53,891	51,398	56,406	56,209	59,278	57,650



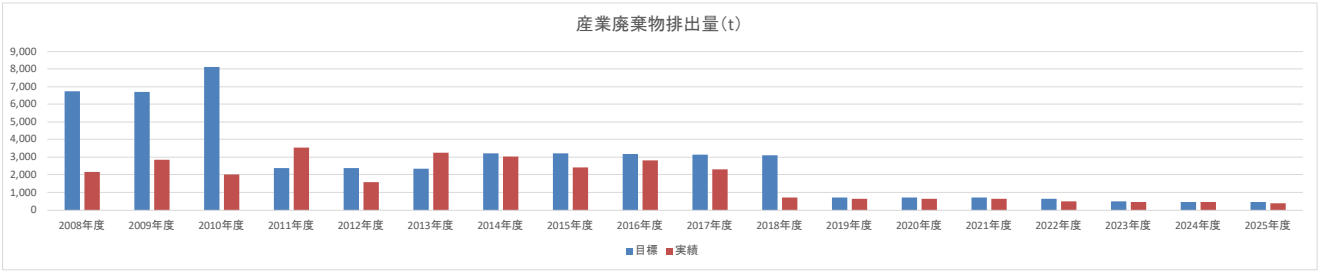
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
軽油消費量(L)	目標	4,336	5,677	3,183	3,151	6,021	1,537	5,897	5,835	5,773	5,710	5,648	1,525	5,524	5,462	4,276	5,319	3,643	2,191
	実績	1,848	3,215	2,371	6,207	3,770	611	4,291	5,495	4,663	5,185	8,223	1,034	3,268	4,319	5,373	3,680	2,213	5,560



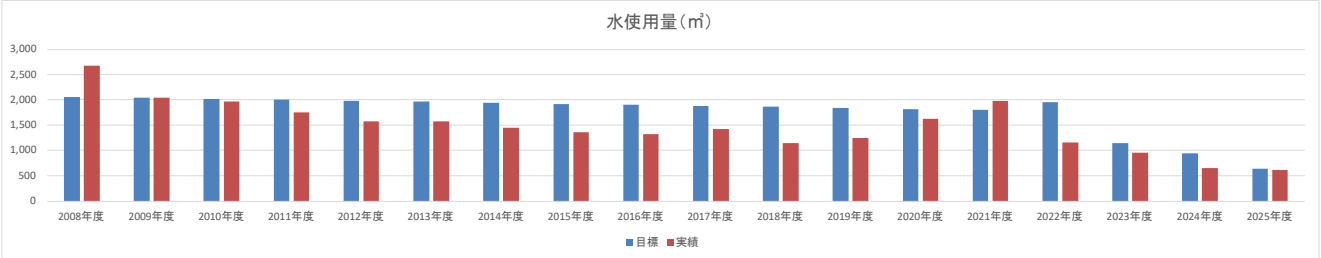
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般廃棄物単純焼却量(kg)	目標	11,753	11,693	5,487	5,431	5,376	5,320	1,611	1,594	1,578	1,562	1,546	1,529	669	662	463	458	411	486
	実績	8,482	5,542	3,178	1,738	1,627	1,692	1,531	1,177	744	780	684	676	424	468	463	416	491	386



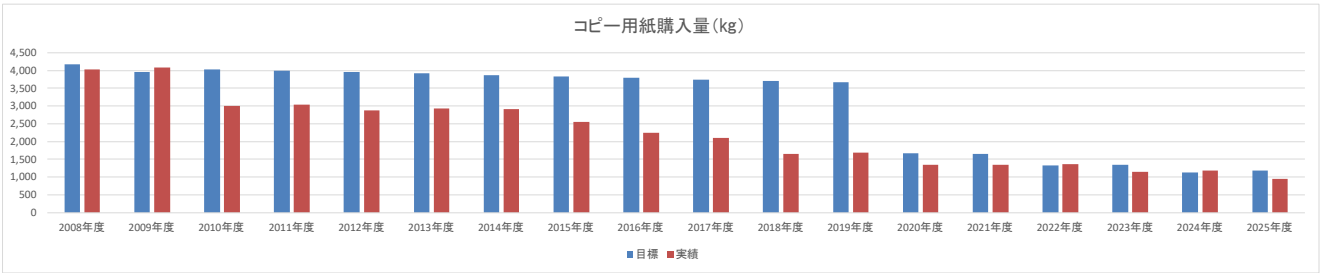
項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
産業廃棄物排出量(t)	目標	6,744	6,710	8,119	2,385	2,361	2,337	3,227	3,195	3,162	3,130	3,097	707	700	693	640	489	460	439
	実績	2,171	2,846	2,021	3,522	1,562	3,260	3,040	2,431	2,801	2,291	714	641	627	646	494	465	443	395



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
水使用量(㎥)	目標	2,055	2,044	2,024	2,003	1,983	1,962	1,942	1,921	1,901	1,880	1,860	1,840	1,819	1,799	1,955	1,141	948	644
	実績	2,672	2,044	1,964	1,753	1,574	1,574	1,450	1,356	1,322	1,421	1,147	1,242	1,627	1,975	1,153	958	651	616



項目		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
コピー用紙購入量(kg)	目標	4,170	3,951	4,037	3,995	3,955	3,914	3,873	3,832	3,792	3,751	3,710	3,670	1,671	1,654	1,332	1,352	1,134	1,181
	実績	4,031	4,077	2,999	3,032	2,870	2,929	2,914	2,552	2,241	2,098	1,653	1,688	1,354	1,345	1,366	1,145	1,193	957



2.　主要な環境活動計画の内容

	取組項目	活動計画の内容
CO_2の排出量の削減のために	電力使用量の削減	省エネ照明器具の設置 昼食時及び不使用区画の消灯
	都市ガス使用量の削減	夏季冷房温度設定27℃ 冬季暖房温度設定21℃ エアコンフィルターの清掃
	ガソリン消費量の削減	エコドライブの徹底 車輌台数の削減 低燃費車の導入
	軽油消費量の削減	エコドライブの徹底
一般廃棄物単純焼却量の削減		分別収集の徹底 リサイクルへの転用
産業廃棄物排出量の削減 ※1		非開削工法の推進 掘削幅を可能な限り狭くする
水使用量の削減		節水の徹底 漏水点検の実施（月1回）
コピー用紙購入量の削減		両面印刷（コピー）の励行 コピー用紙の裏紙使用 DX化の促進
化学物質の適正管理		PRTR法対象化学物質使用量の把握とその化学物質の適正管理
環境配慮型設備工事の推進 ※2		コージェネ設備工事の推進
周辺地域清掃活動の推進		月1回実施

※1 コンクリート塊、As・Co塊、建設混合物

※2 コージェネレーション設備定格発電出力

主要な環境活動のご紹介（事務所編 ①）

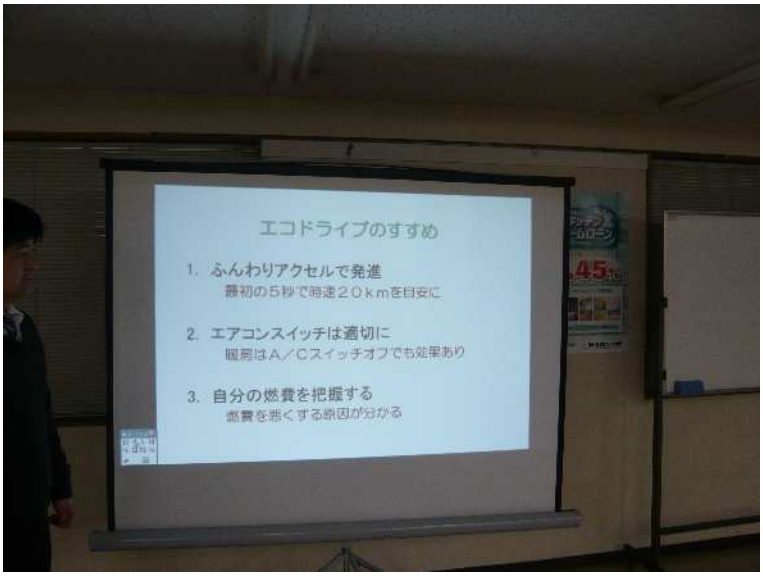


昼食時及び不使用部屋の消灯

事務室は、昼休みの1時間及び終業後、残業者がいない区画について消灯しています。
又、会議室やトイレなども使用していないときは消灯するようにしています。

エコドライブの推進

エコドライブについての研修会を行い、社有車を運行する者に対してエコドライブの実施方法や実施による効果について教育しています。





分別収集の徹底・リサイクルへの転用

事務所で13種類、工場で15種類のごみ箱・回収ボックスを設置し、分別収集の徹底を図っています。
分別した廃棄物のうち、リサイクルできるものについては、処理業者にリサイクル処理を委託しています。

主要な環境活動のご紹介（事務所編 ②）



コピー用紙の裏紙使用

裏面白紙の使用済みコピー用紙を入れる専用ボックスをプリンター、コピー機周りの設置し、文書のプリントアウトやコピーをする際に裏紙を使用するよう促進しています。



周辺地域清掃活動の促進

エコアクション21の取組を開始以来、毎月欠かさず会社周辺の清掃活動を実施しています。



エネファーム



エコジョーズ

その他（環境配慮商品の販売：取組項目外）（エネファーム、エコジョーズの販売）

大阪ガス住設機器特約店として、都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることで発電し、その廃熱で作ったお湯を給湯や暖房に使える家庭用ガスコージェネレーションシステム「エネファーム」や通常は捨てられる排熱をお湯づくりなどに再利用する高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しています。

主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ①）



非開削工法の推進
（パイプスプリッター工法）

道路下の既設管路を利用した非開削のガス管入替工法です。
ガス管入替区間の両端を掘削し、発進立坑から到達立坑へロッドを挿入します。ロッドの先端にブレット（縦切りカッター）を接続し、さらにその後に新しいPE管を接続して発進立坑側に引き戻すことにより、ブレットがネジ鋼管を管内から縦切り・拡径したトンネル内に、PE管を引き込むことによりガス管を入れ替えます。

FK検査方法の推進

FK検査方法とは、掘り起こした土が埋め戻しに再利用できるか検査する方法です。埋め戻しすることにより掘削土の削減に繋がります。

①掘削土を350g採取して容器に入れます。

②容器に入れた土を流水で洗い流し、水がきれいになるまでかき混ぜます。

③容器の水切りを行い、土の重量が315g以上あれば埋め戻しに利用できます。

①



②



③



主要な環境活動のご紹介（建設現場編 ②）



掘削幅を可能な限り狭くする

掘削による土砂やコンクリートがらの排出量を抑えるために、可能な限り掘削幅を狭く施工しています。



低騒音型建機の使用

施工時に発生する騒音について、周辺住民の生活環境への影響を緩和するため、低騒音型建機（ユンボ、ランマー、発電機等）を使用しています。



コージェネレーション設備の施工

クリーンな天然ガスを用いて発電し、その際に発生する排熱を冷暖房や給湯などに無駄なく利用する省エネルギーシステムであるコージェネレーション設備の設計・施工を行っています。

3.　環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

取組計画	結果	評価、今後の取組
電力使用量の削減	削減計画達成率＝98.9% 猛暑対策として、EHPエアコン使用頻度が高くなった影響が出た。	[評価：×] 不要区画のエアコン停止を徹底し、使用量削減を目指す。
都市ガス使用量の削減	削減計画達成率＝104.2% 空調設定温度の厳守を周知徹底した効果が出た。	[評価：〇] 不要区画のエアコン停止などを徹底し、更なる使用量削減を目指す。
ガソリン消費量の削減	削減計画達成率＝101.8% 年度末に社有車両の稼働が減少した影響で消費量を削減できた。	[評価：〇] 必要性の低い車両を処分し、更なる消費量の削減を目指す。
軽油消費量の削減	削減計画達成率＝−253.8% 導管作業班を内製化し、ダンプや建機等の燃料消費量が増加した。	[評価：×] 積載量をできるだけ軽くするよう工夫し、消費量の削減を目指す。
CO_2排出量の削減	削減計画達成率＝96.6% 軽油消費量が大幅に増加した影響で排出量が増加した。	[評価：×] 今年度増加した電力・軽油の消費量を減らし、削減目標達成を目指す。
一般廃棄物単純焼却量の削減	削減計画達成率＝120.6% 紙廃棄物のリサイクル分別率が向上した影響が出た。	[評価：〇] リサイクルできるものの分別を精緻に行い、更なる排出量削減を目指す。
産業廃棄物排出量の削減	削減計画達成率＝126.3% 前年より、非開削工法の実施件数が増加した影響が出た。	[評価：〇] 可能な現場では非開削工法を積極的に実施し、更なる排出量の削減に努める。
水使用量の削減	削減計画達成率＝104.3% X線写真現像作業の減少に伴い、使用量が減少した。	[評価：〇] 漏水の有無をこまめに確認し、更なる削減に努める。
コピー用紙購入量の削減	削減計画達成率＝119.0% システムの導入により、文書や帳票の印刷量を減らすことができた。	[評価：〇] 引き続きDX化を推進し、更なる使用量削減を目指す。
化学物質の適正管理	計画達成率＝100% PRTR法の要求事項を満たしていることを確認した。	[評価：〇] 法規制の動向を注視し、速やかに対応していく。
環境配慮型設備工事の推進	計画達成率＝57.1% 2件のコージェネ設備工事を完工したが、規模が小さかった。	[評価：×] 新規物件獲得のため営業に注力する。
周辺地域清掃活動の推進	計画達成率＝100% 事務所清掃日に合わせて実施することにより、習慣として行えている。	[評価：〇] 今後も現在の取組を継続する。

注）削減計画達成率(%)＝{1＋(1－実績／目標)}X　100

4. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反･訴訟等の有無

1）主な法規制等と遵守状況の確認及び評価結果

（事務所）

法規等の名称	遵守すべき事項	適･否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書･許可証の確認 産業廃棄物置場の管理基準の遵守（水銀使用製品産業廃棄物置場の確保と掲示含む）	適
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	家電リサイクル券の受取確認	適
消防法	防火管理者の設置 消防設備点検の実施	適
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	簡易点検の実施･記録･保存（特定製品廃棄後3年まで） 専門家による定期点検の実施･記録･保存（特定製品廃棄後3年まで） フロン類を使用する特定製品の廃棄時に登録事業者にフロン類の回収を委託（引取証明証、回収証明証の受取確認）	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO_2排出量削減等	適
資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）	廃パソコンの再資源化回収業者への引渡し	適
騒音規制法	規制基準を遵守する。届出施設の届出（大阪府条例）	適
振動規制法	規制基準を遵守する。届出施設の届出（大阪府条例）	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品･サービスの提供（環境配慮型商品の提供）	適
化学物質排出把握管理促進法（化管法）	化学物質使用量の把握	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	フォークリフトへの基準適合ラベル貼付と定期検査、日常点検の実施	適
労働安全衛生法	化学物質リスクアセスメントの実施と従業員への周知	適
労働安全衛生法（溶接ヒューム関連）	居所換気に近い換気装置を設置 特殊健康診断の実施 安全衛生教育の実施 ぼろをふた付きドラム缶（内側にビニール袋）に収納 不浸透性の床 関係者以外の立入禁止措置 運搬貯蔵時の容器等の使用 休憩所の設置 洗浄設備の設置 喫煙･飲食の禁止 有効な呼吸用保護具の備え付け 溶接ヒューム濃度の測定 測定結果に応じた有効な呼吸用保護具の使用と定期的なフィットテスト 特定化学物質作業主任者の選任及び表示	適
大阪府生活環境の保全に関する条例	条例に基づく届出施設の届出（騒音、振動）	適
毒物及び劇物取締法	シャトルライニング液剤の施錠保管管理及び劇物表示	適

（建設現場）

法規等の名称	遵守すべき事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	保管場所の表示・管理 産業廃棄物マニフェストの返送管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 廃棄物処理委託契約書・許可証の確認	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設ﾘｻｲｸﾙ法）	発注者への報告 分別解体の徹底により、種類に応じた最終施設への適正な搬出	適
道路法	基準に適合した埋め戻しの実施による道路環境保全	適
地球温暖化対策の推進に関する法律	エコアクション21環境経営システムの運用によるCO_2排出量削減等	適
騒音規制法	特定建設作業の実施の届出	適
振動規制法	特定建設作業の実施の届出	適
Daigasグループ環境行動基準	環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供（掘削残土削減：非開削工法の推進）	適

＊ 環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

2）違反・訴訟等の有無

自社における環境関連法規への違反はありません。

過去３年間、関係当局から違反等の指摘はありません。

訴訟等もありませんでした。

5. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

見直し実施日：2026年7月10日　　代表者：清水 保弘

〔環境経営方針について〕

現時点では変更の必要なし。

今後も、ガイドラインの改訂情報や世の中の環境に関連した動向等を注視しつつ、企業理念及び事業活動とさせること。

〔組織について〕

現時点では変更の必要なし。

今後も、必要があれば組織の改正を行い、環境への取組を実施するために効果的な実施体制の構築を目指すこと。

〔環境経営目標とその実績について〕

電力使用量・軽油消費量・CO2排出量の削減、環境配慮型設備工事の推進の項目で目標値をクリアできなかった。特に大幅に増加した軽油消費量については、下請けに出していた都市ガス導管工事の施工を2026年1月から内製化したことで、これまで協力会社が負担していた車両や建機用の軽油を当社で負担するようになったことが原因と考えられる。

〔環境関連法規等への対応について〕

当社の事業に係る環境関連法規については、確実な対応がなされている。

今後も、改正及び新たに制定される環境関連法規について情報を収集すること。

〔今後の環境活動について〕

エネルギー使用量の削減を目指して、通年でビジネスカジュアルを導入し、空調を季節に合わせた推奨温度に設定する取り組みを実施する。また、今年度は2台実施した社有車両のハイブリッド車への移行を更に積極的に推進していく。

事業面では、従来のコージェネレーション設備の施工及びや環境配慮型廃棄物処理施設の施工に加えて、主要取引先である大阪ガスが推進する脱炭素化に向けた取組に関連した工事に携わることにより、環境保全に貢献していきたい。

以上